

カワノ工業の経営理念 解説

経営理念	経営理念とは、経営をする上で我が社が一番大切にする「考え方」「理想とする想い(あるべき姿)」であり、我が社の経営の目的・価値観・判断基準となるもの。当然、まず経営者（社長）が一番、理解し、常に意識し、実践しなければならない。暗記・唱和するよりも、日常のあらゆる企業活動の中で、この経営理念が、なんとなく雰囲気として、匂いが感じられることを目指します。
社員	社員には正社員・契約社員・定年再雇用社員・パートの全てを含む。その契約形態による雇用条件（賃金・勤務時間等）に違いはあれど、「我が社で働く人」という意味においては、同等であり、扱いを区別することは、一切しない。
1人1人	1人ひとり、置かれている環境や背負っているものや、価値観・考え方、好みや能力・適性は、違って当然である（個性）。その個性は可能な限り尊重していく。しかし「我が社で働く人」という点においては、共通の目的・価値観・判断基準は、共有できると考える。
安心して	安心とは、（役割を果たした上では）雇用や地位や待遇が脅かされることはない状態をさす。また、安心には、安全や健康、生活の安定や向上も含めて考える。会社・仕事以外に関する個人的な事であっても、可能な限り配慮できる会社でありたい。
やりがい	仕事をする大きな目的は「報酬を得る」ことではあるが、せっかくの人生の多くの時間を我が社で費やす中では、仕事そのものに、充実感・達成感を感じて欲しい。（何が「やりがい」につながるのか？・・・ まだ、ハッキリとは分かりませんが、これからも模索して行きます。）
プライド	「稼ぐため」「お客様は神様」とは言いつつも、「我が社」「我が仕事」にプライドを持てるように、「我が社」「社員」のプライドを守りたい。
人から喜ばれ	「はたらく」とは「周囲の人を楽にすること」であり、働いて、人から喜ばれた結果、対価を払っていただける。「喜ばれること」はある意味「対価」以上に価値ある報酬であり、これが「やりがい」にもつながる。お客様だけでなく、まずは職場の仲間から喜ばれることが第一歩。
成長できる	時代も流れる中、「昨日できなかった事が今日できるようになる」ことは、大きな喜びにつながる。歳を重ねても、心の持ちようでは、いつまでも成長できる。成長するためには、我が社は（致命傷でない程度の）失敗を恐れない。社員も我が社も成長を目指す。
自分以外の仲間を大切に	会社（組織）に入って仕事をする目的は、「自分ひとりではできない事」を、「みんなで協力して」成し遂げるためでもある。全ての仕事を1人ですることはできない。人それぞれ、得手不得手、適材適所もある。我が社には、「いない方がよい人」は、存在しない。
お客様	「我が社に仕事を発注してくれて、対価を払ってくれる」お客様がいて、初めて、「仕事」が生まれて完結する。
社外の関係者	同業者・協力会社・仕入先・地域の人。我が社1社で、仕事をゼロから100まで、全てできる訳ではない。必ず、社外の関係者の協力が必要である。また、地域に認められなければ、我が社は存在すらできない。
大切にする	大切にするとは・・・関心を持つ。声かける。認める。褒める。叱る。任せる。一緒に喜ぶ。信頼する。情報共有する。協力する。自分のことのように考える。相手の立場で考える。・・・
雇用維持・存続 生活の安定・向上 そして利益の追求	最大の地域貢献は雇用の維持である。そのためには、まず会社の存続が必要。ただ存続するだけでなく、社員・パートの生活の安定・向上も必要。そのために必要になるのが利益である。
社会貢献 と適正利潤	地域で継続して商売をさせていただく以上、地域への社会貢献は欠かせない。また、雇用を守り、設備投資や製品開発を行い、納税・社会貢献も含めて、経営を持続させていくためには、適正利潤の追求が必要不可欠である。
安全・健康 元気に出勤 元気に帰宅	いくら業績が良くても、仕事のやりがいがあっても、大きな病気になったり、重大事故が起こっては何ものならない。まずは「元気に出勤し、元気に帰宅」を一日一日、積み重ねていくこと。